

THE WEEKLY REPORT 2003▶2004



TAKIKAWA

ROTARY CLUB

第 2323 回 2213 10月25日(土)



「百合の咲く庭園」 撮影／滝川ロータリー名誉会員 神部弘二

ロータリーテーマ：手を貸そう

ROTARY THEME : LEND A HAND

2003~04 国際ロータリー会長 ジョナサン.B.マジニアベ氏

「変革にチャレンジ」 林 博 幸 会長

第2321回例会記録 10月16日(木)

会長エレクト挨拶・報告



篠島 弘会長エレクト

この一週間、雨の日が多くなり、日一日と夕暮れが早くなり、雨が降るたび毎に気温も下がって参りました。また峠では雪が降る季節になりました。風邪など引かないようにご自愛下さい。

本日は、第2510地区・対木正文社会奉仕委員長をお迎えしての例会です。なお、この地区社会奉仕委員会には当クラブの菅原剛太郎会員が出向しており3年目になります。対木様には後ほどお話をさせて頂きます。

昨日、第2グループ土山久男ガバナー補佐からFAXが届きました。9月26日に発生した「平成15年十勝沖地震」の莫大な被害に対する義援金を地区として募るのでお願いしたいとの事です。皆様の協力をお願いします。

また、来週10月25日に行われます地区大会の参加登録は1,800名を超えたそうです。24日・25日には林会長の代行として出席させて頂きます。

幹事報告

1. 深川RCより例会変更のお知らせがあります。詳しくは事務局へ問い合わせ下さい。
2. 来週23日は例会はありません。25日(土)地区大会出発前・早朝例会として、6時45分より9Fスカイラウンジにて開催致します。お間違えのないようお願い致します。
3. 10月31日PM6時より指名委員会が開催します。指名された委員の方、出席のご返事をお願いします。
4. 本日、十勝沖地震の義援金を募りたいと思いますのでご支援お願い致します。

委員会報告

親睦委員会

本日PM6時より「やまもと」で木曜

フォーラムを開催します。出席宜しくお願致します。

雑誌委員会

「ロータリーの友」10月号が届きましたのでご一読下さい。

先週のプログラム

国際奉仕委員会担当

司会 国際奉仕委員会 菅原剛太郎委員
最初に松橋委員長より挨拶とゲストの紹介をお願いします。

委員長挨拶及びゲスト紹介

松橋和博国際奉仕委員長



皆様今日は、日頃から国際奉仕にはご理解頂き有難うございます。おかげをもちまして、財団並びに米山も順調にご寄付を頂いている様で重ねてお礼申し上げます。

さて、本日は札幌西RCの対木様をお招きして「国際奉仕・社会奉仕あれこれ」について卓話をして頂きます。それでは、卓話を宜しくお願い申し上げます。

「外から見た日本の教育問題と青少年問題」
対木正文地区社会奉仕委員長



私は、3年前まで地区のWCS世界社会奉仕委員会でロータリーの海外援助の仕事をさせて頂いておりました。最初は少しでも相手にとって役に立って喜んで頂ければとの思いだけで仕事をしていました。しかし、回を重ねていくうちに何かが違うなと気付いたのでございます。それは、援助を受けて経済的に困っているはずの子供達の目が、日本の子供達の目と違って、澄んでいて、しかも輝いていることに気付いたからです。逆を申しますと、「あれ、日本の子供達は何かが欠けているな」と感じました。それは人間として、また社会人としてたくましく本能的に生きる力、生きる目の輝きを失ってしまったからだと思います。

私は約35年にわたって日本人に外国語を教える仕事と、外国人に日本語を教える

私は約35年にわたって日本人に外国語を教える仕事と、外国人に日本語を教える

仕事をしてきました。私の旅好きもあって、その為に普通の人より海外に行く機会も多く、また、知人も多くおります。皆さんも海外に行かれて日本に帰ってきますと、良い意味でも悪い意味でも、外から日本を再認識することが多いかと思えます。

私の日本語学校にいるほとんどの学生は大学や専門学校に進学します。それぞれの国の若い人がそれぞれの目的をもって留学先を選んでおります。日本側から見ますと、日本で学んでいる留学生の国別でいきますと、中国からの学生が圧倒的に多く学んでおります。

でも、中国側から見ますと、日本への留学希望は5番目の国です。これは、中国だけではありません。日本語学校で学ぶ学生で中国について多いのが韓国、台湾と続いております。残念ながらこれらの国も日本への留学希望者は5番目なのであります。アジアの先進国といわれているシンガポールに至っては日本語を学んでいる学生は、日本語学校全体の45,000人のうち日本全国でたった数十名であります。

シンガポールにシンガポール日本文化協会があります。その協会の顔会長は以前駐日シンガポール大使館の経済担当の公使をされていた方で日本にも留学したことのある大変な知日家で情報通ですが、シンガポールの学生が日本に行かない理由を、「日本で取得した資格が使えないなどの制度上の理由もあるが、一番大きな理由は日本に行く生きる力と個性を失って平均化されてしまう。競争社会のシンガポールでは全くなじまないのですよ」と語っていました。顔会長は次のようなこともお話されておりました。今日のテーマとは関係ないかもしれませんが、外から見ると客観的に物を見ることができる例かと思えます。

また、彼は次のようなことも言っておりました。「シンガポールは1980年代の日本みたいになってしまいましたよ」。それはどういう意味ですかとお聞きしましたら、「強い政府の指導で国づくりをしてきたが、経済も豊かになり、なんでも政府がしてくれるものだから、個人個人が明確な強い意志をもって生きていかなくても、政府が

やってくれる、政府の言うことを聞いていれば良いのだと考える人が増えてきたんです。日本も何か困ったことがあれば政府が何とかしてくれる。何とかその場を逃れたり後送りするようになったのと同じですよ」と。

私は社会が成熟してしまうと、いくら立派な制度を作っても、自分で生きていこうとする力が弱いとあなた任せになり無責任になってしまうのではないかと思います。ある意味では成熟しきった柿は一度落ちてしまった方が次への展開が早いのではないかも思うこともあります。

ついでに同じような例をもう一つ上げさせてもらいます。4年前、札幌北クラブさんがスリランカに医療ベットを送った際に、ご縁で、私のところにスリランカのコロナボRCのダヤシリさんと言うロータリアンの方がご挨拶にお見えになりました。昔日本に留学していたことがあるということで本当に流暢な日本語を話しておりました。お話の中で、息子さんが3人とお嬢さんが一人との家族構成ですが、当初は自分の学んだ日本に留学させるつもりだったが、残念ながら息子さん3人もアメリカにした。その理由は、「自分が学んでいた頃の日本とはずいぶん違う。何か今の日本は閉鎖的でわかりにくい。日本に来ると生きる力がなくなり、国際社会で切磋琢磨しながら協調して生きていけなくなる」でした。責任をとらない、物事を後送りすることの多い日本の社会を見て、外国人が客観的にそう感じるのは無理がないのかもしれない。

少子化の事について触れさせて頂きます。皆さんご存知ように中国は一人っ子政策をとっております。10年数年前だったと思いますが瀋陽の小学校の前を通った時のことです。時間は午後4時位でしたが校門の前に群れをなしてお年よりが子供達が出てくるのを待っておりました。両親は共働きのために代わりに大事な子供をおじいちゃんおばあちゃんが迎えにきている光景でした。自転車でくる人。ベンツでくる人などさまざまで貧富の差を感じるというよりお金持ちがいるのだなという感じをもち

ました。

ところが、その時に大切、甘やかされて育った中国の子供達が日本の日本語学校に大勢きているのです。昔は手を焼いた、自分が生きること熱心な元気すぎる学生が多かったのですが、今ではまったく様変わりです。怒るとうなだれてしまいます。拳句の果ては部屋に閉じこもってしまいます。福岡の一家4人殺しの事件も甘やかされて育ち、兄弟がいない、社会性のない、相手の事を考えることの出来ない中国の一人っ子政策の弊害でないかと思えます。でも、日本も少子化で同じ問題を抱えているのです。けんかする相手がいないということは学び成長する機会がないのです。

人は生きるために本能的に行動するのは、いつの時代でも変わらないと思えます。しかし今の私たちは、目標を持って一生懸命やることを知らないうちにないがしろにしてしまっているのではないのでしょうか。個人にしても地域社会にしても、また、国にしても共通している行動の原点は、将来に向かって明るい夢を抱き、その夢を実現するために日々努力することではないのでしょうか。目的もなく何となく生きていける時代は確かに良い楽な時代ではありますが、本来人間が持っている本能的に生きる事をおろそかにしているかもしれません。

今、日本国内では教育改革論議が取り交わされておりますが、現実には困難な道を歩んでおります。私は個人的には子供達への教育改革論議は大人の問題、社会の問題でないかと思うことがあります。それは、成長過程の子供達は大人たちや社会を子供達の目線でジッと見て学習しているからです。

そういう意味で、親が出来ない、学校が出来ない今日、分かりやすくみんなに公平かをモットーとするロータリー、ロータリアン個々が社会に果たす役割は大変

大きいと思えます。ロータリーの奉仕活動を通してもっと社会と接点を持ち社会に発信する必要があるのではないのでしょうか。

今年度、地区の社会奉仕委員会は教育問題を取り上げ、11月29日に札幌道新ホールで、ロータリー市民フォーラムを開催します。多数の方のご来場をお待ちしております。

生きる喜びと奉仕の喜びは共通するものがあるような気が致します。

今の青少年に夢を託しぜひとも魅力ある日本を作っていきたいものです。

ニコニコBOX

田中 幹雄会員 担当例会を終えて。(10月9日)

松橋 和博会員 本日の担当例会を無事に終えて。

武田 邦彦会員 お陰様で札幌演奏会と、たきかわ音楽祭が無事終了しました。

高嶋 敏寛会員 結婚記念日に食事券を頂いて。

三品 優次会員 滝川市民になれました。これからも宜しく。

河内 栄子会員 お店が開店25周年感謝キャンペーンを始めます。どうぞ皆様ご来店下さいね。

ゲスト 対木正文様

(地区社会奉仕委員長)

ビジター 沖田比呂志会員 砂川RC

メイクアップ 野田富夫会員

地区ガバナー事務所

会長/林 博幸
幹事/川口 義弘
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日 ●毎週木曜日 PM12:30
例会場 ●ホテルスエヒロ
事務局 ●☎073-0032滝川市明神町2丁目2-16
ホテルスエヒロ7F TEL (0125) 22-3344
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。